資料3

「（仮称）町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン（素案）」 市民意見募集の結果
～ご意見の概要と市の考え方について～（案）

【アクションプラン（素案）全体に関する意見】

No.	ご意見の概要	市の考え
1	・今回のプランでは、農業を観光資源として進めて行くことに共感する。	・推進事業を実施するにあたっては、地域資源を活かした観光の視点を重視して取り組んでまいります。
2	・町田市北部丘陵活性化計画に対して、アクションプランでは、より具体的なイメージが示されており、とてもよい計画だと思います。	・これまでの実施事業の成果や課題、社会経済状況等を踏まえて事業を精査し、今後実施する事業の重点化や明確化を図り、取り組んでまいります。

【重点事業②里山環境の回復や保全を促進する仕組みの構築に関する意見】

No.	ご意見の概要	市の考え
3	・何十年も手付かずの山林を何とか活用したいと地権者は思っている。今回のプランで打ち出したバンク構想には大いに期待する。	・手入れが行き届いていない山林の維持管理や活用を図るため、「（仮称）町田市山林バンク」の創設を重点事業として位置づけ、取り組んでまいります。

【重点事業④幹線道路等の計画・変更に関する意見】

No.	ご意見の概要	市の考え
4	・地域で生活している者としては、まず道路整備が一番の重点策と考える。上小山田は道路整備が市内で一番遅れている。今回のプランで重点項目に取り上げていることに大いに期待する。	・幹線道路等を整備することにより、地域における広域的なネットワークを強化し、地域の広域アクセス性を高めます。そうした事業を実施することにより、地域生活者の交通利便性を高めるとともに、新たな担い手を呼び込むための基盤整備につなげるよう取り組んでまいります。
5	・重点事業④について、町田3・4・40号線と市道忠生630号線とは隣接平行していて、環境面からも投資面からも検討の余地があると思います。	

【小山田地域の事業展開イメージ（Ⅳ野中谷戸エリア）に関する意見】

No.	ご意見の概要	市の考え
6 7	・野中谷戸エリアでは、既に市民や子ども達がクヌギやエノキの植樹等を通じて環境について学ぶ取り組みが実践されています。また、企業や大学等の社会貢献活動と連携した自然環境保全等も実施されています。これらの取り組みを継続して、里山環境について学習や体験ができるエリアを充実させてください。（同様1件）	・収穫した農産物の販売や環境学習体験プログラムの実施等により、個人や団体が自ら収益活動を行い、里山環境の回復や保全活動の充実を図る仕組みを構築してまいります。
8	・野中谷戸エリアでは、里山環境を活かした体験学習やツアーの開催は既に行われていますが、ここで活動している団体と連携して、本格的なエコツーリズムなども推進してください。	
9 10	・収穫物の販売など、活動団体等が自ら収益を行うことできる仕組みはぜひつくってください。（同様1件）	
11 12	・唐木田貯水塔の東側頂点に、鶴見川河口が見える展望点もぜひ整備してください。（同様1件）	・展望点の設置について、地域住民や活動が想定される主な主体との話し合いを行いながら、検討を進めてまいります。

【小山田地域の事業展開イメージ（Ⅵ田中谷戸エリア）に関する意見】

No.	ご意見の概要	市の考え
13	・鶴見川源流地域を公園化していくプランは、地域の活性につながり大変良い。源流保水の森一帯は、市内最大級の観光資源となり得ると思う。	・鶴見川源源流と長池公園をつなげ、広域的な回遊性を高めるための遊歩道づくりや、眺望点に谷戸の風景を見渡す展望広場を設けて来訪者を呼び込むなど、観光の視点を重視した取り組みを検討してまいります。
14	・田中谷戸(鶴見川源源流)エリアでは、「水土砂災害等のリスクを低減させる必要があるため定期的な山林の維持管理を実施する 」とありますが、山林の維持管理だけでは、水土砂災害等のリスクを低減させることは難しいと思います。土砂災害危険度に関する総合的な調査を実施し、時間１００mm規模の豪雨を想定して、水系にしっかりとした堰を設けるなど、担当行政部局による基本的な土砂防災対策を実施してください。	・土砂災害防止法では、都道府県による土砂災害警戒区域等の指定を受け、市町村は指定された箇所を周知し、早期の避難を住民に呼びかけるものとして役割が求められており、町田市としても、早期に避難していただけるようにハザードマップ等を用いて周知を図っております。

【その他】

No.	ご意見の概要	市の考え
15	・保水および生物多様性の観点からの記述が無いようです。それぞれ、防災上、観光資源上、最重要の課題です。何のために整備していくのか、アクションプランということで利活用面が強調されて、基本的理念が置き去りにされている感じがします。	・アクションプランは、2011年3月に策定された「町田市北部丘陵活性化計画」の目標像である「人と人が育む、美しく、いきいきとした町田ならではの里山をめざして」や基本方針等を引き継いだ行動計画として策定します。
16	・ 緑の保全の観点から、「景観」、「風景」ということばは頻繁にでてきますが、緑なら何でもよいというわけではありません。竹林や杉林も緑ですが、荒廃したこの状態を整備して生物多様性に富んだ里山環境を創ることに価値があります。	・里山環境の回復や保全のためには、生物多様性に留意した山林の適切な維持管理が必要であると考えております。 ご意見を参考に、里山環境の再生・保全に取り組んでまいります。